

の近くで積もったことを示しています。

このがけをつくっている地層がたい積した洪積世の中頃、この附近は大きな湖の淵に近かったと考えられます。

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

乙字が滝の見られる滝不動堂の
—近くの川岸

(2) 川岸から滝のようすや水の流れ
を観察する。

① 足もとに注意して、川岸から
川の全景をスケッチする。

② 流れによって、かたい岩盤が
みぞ状にけずられ、水量の少な
い季節では、その浸食されたみ
ぞに沿って流れ、また、大
雨のあとなど水量の多い時
は、川床の岩盤一面が水面
下にかくれ、小さなナイヤ
ガラのような瀑布が川幅一
杯に見られるので、観察時
に気付いたことをスケッチ
に書き入れる。

③ 滝不動堂わきの川岸から

観察される川のはたらきで、目につくのは、川床をけずるはたらきである。滝
の手前では落差のため、流れも早くなり、そのため流れの下の岩盤をけずる
はたらきが強く作用しているためである。

